

## 第3回＜B&G全国サミット＞

# 「自然体験活動の効果に関する調査研究」



2010年1月28日

学研教育総合研究所  
安威 誠

<調査研究の背景>

## 環境の急激な変化による今日的課題

---

- 地球規模で生ずる産業革命以来の自然界の変化
- IT情報革命によるグローバル化と対人関係の変化
- 少子高齢化、人口減少による社会構造の変化
- 経済構造の変化に伴う雇用のあり方の変化
- 地域社会が抱える諸問題
- 学校が抱える諸問題
- 家庭でのしつけ等子育て力の低下等の諸問題
- 子ども 地域の大人、異年齢、集団、自然体験、激減
- 仮説/自然体験活動は子どもの人格形成に役立つ!?

# 国の教育行政

## □ 教育基本法

・第一章 教育の目的及び理念 第二条(教育の目標)

- 一 略 豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養う。
- 二 略 自主及び自律の精神を養う
- 三 略 自他の敬愛と協力を重んずる
- 四 略 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う

## □ 学校教育法

・第四章 小学校 第31条 ・第五章 中学校 第49条

略 児童(生徒)の体験的な学習活動、中略、自然体験活動その他の体験活動の充実に努める。この場合、社会教育関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

## □ 学習指導要領

・社会全体で「生きる力」をはぐくむ



# B & Gと学研がコラボレーション

## ●海洋教育事業 ↔



体験クルーズ 31年間  
(小笠原)



海洋体験セミナー(沖縄)



## ●学研グループ 学研教育総合研究所

・文部科学省委託

「民間活力導入による地域自立型の  
実体験学習学校『マグネットスクール』  
の調査研究」

子どもの意欲・関心・態度  
の変容をデータで証明

単純集計だけでなく、

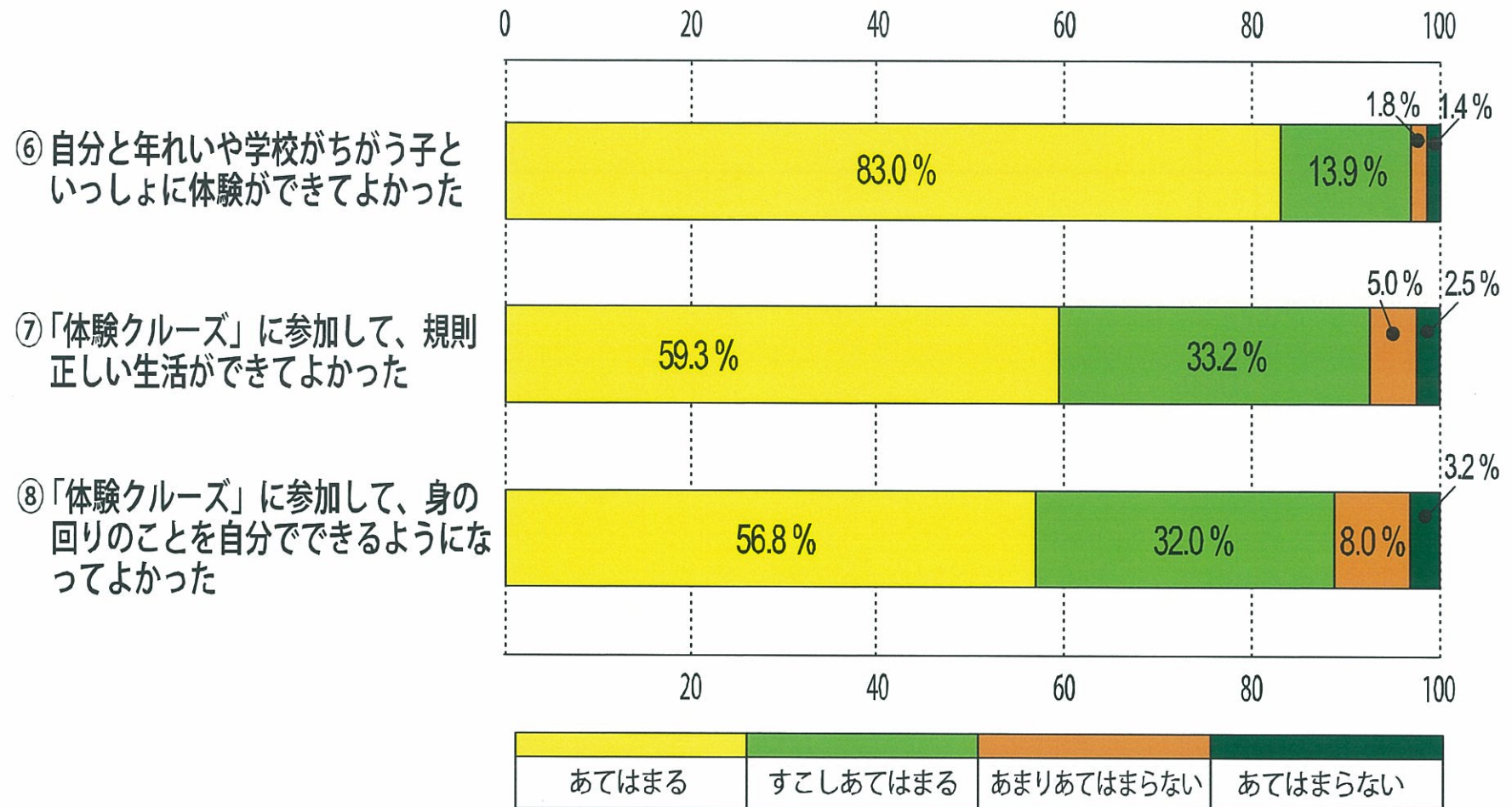
・クラスタ分析

・デンドログラム

・パス解析等の統計学を  
取り入れ、専門家と共同で  
左記二つの調査研究を開始  
科学的に証明を試みる

# 小笠原の体験クルーズ

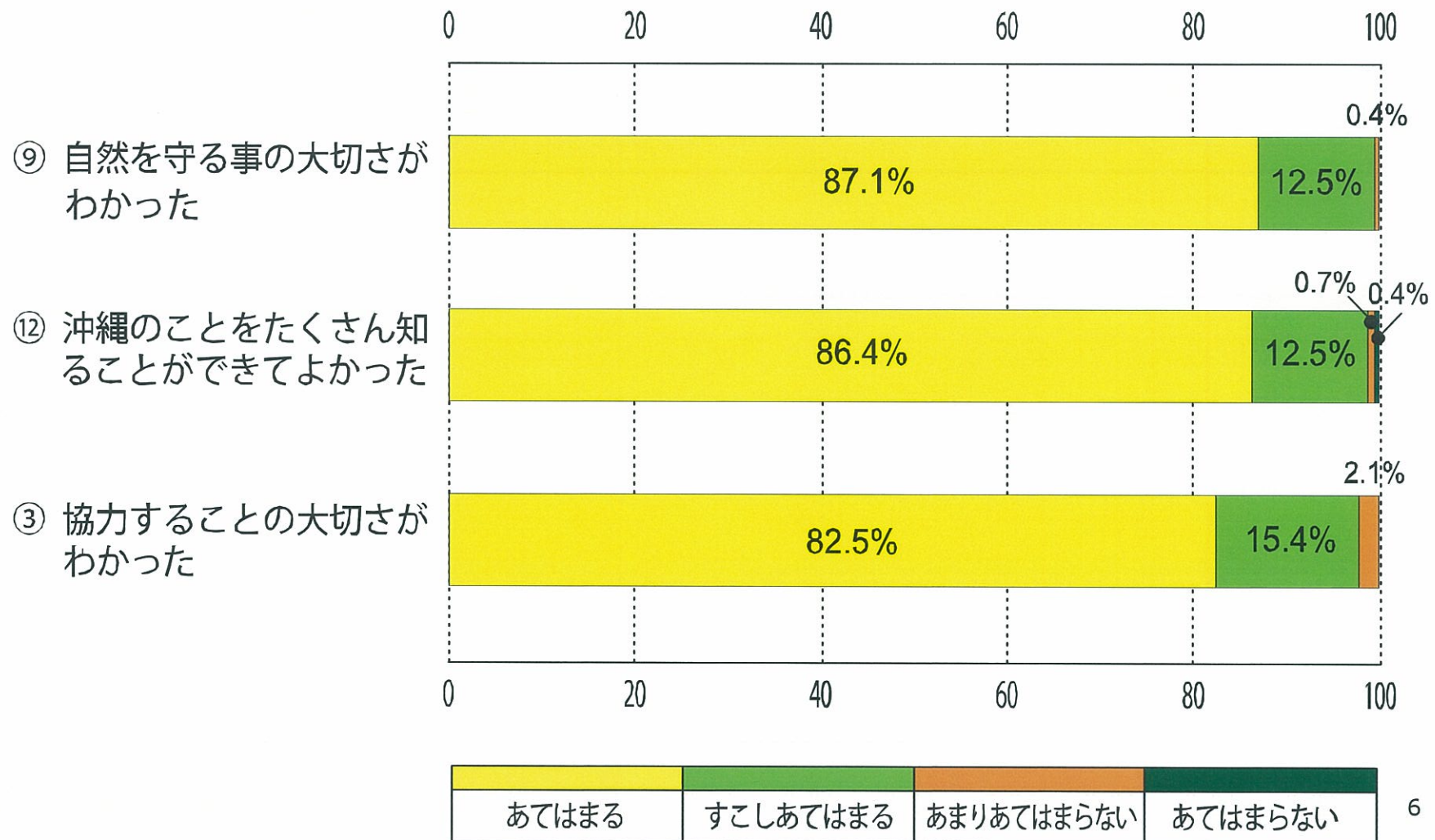
補足資料：1p上段、  
2p参照





# 沖縄の海洋体験セミナー

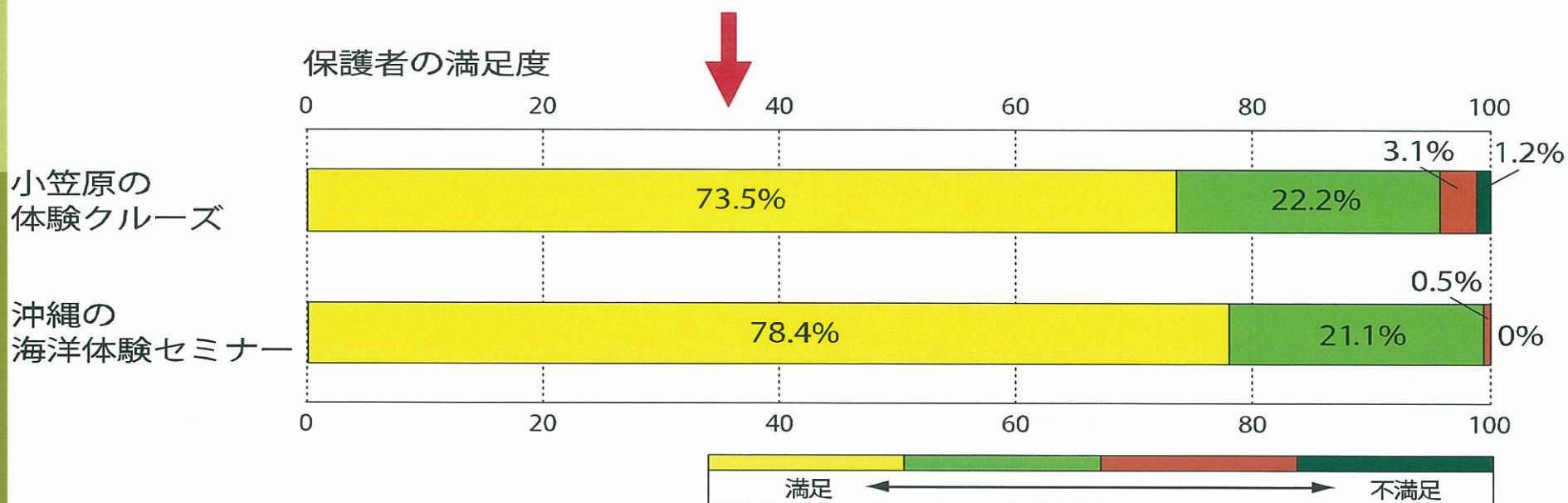
補足資料: 1p中段、  
4p参照



# 保護者の期待と満足度

補足資料: 1p、3p、5p、6p  
参照

- 協調性、積極性、責任感、自立心、礼儀、規律・規則正しさ、等を身につけさせてやりたい。
- 自然・海での体験、思い出作り、視野を広げる、学校ではできない体験、学校の勉強に役立たせたい
- 団体生活、初対面・異年齢の子、友だち作り



※ 数値は全体比 (%) を小数点以下 2 位以下で四捨五入したもの。



## <まとめ>

# 自然体験活動の教育的効果

---

- 児童生徒に対して、教育的効果が高い！  
「自然体験」「社会性(友だち)」「自立性」「学習」  
→沖縄海洋体験セミナーで顕著
- 「規則正しい生活」「団体生活の規律」「自分のことは自分でできる」「社会性」 →小笠原クルーズで顕著
- 保護者に対しても、満足度が高い！！
- 二つの自然体験活動は、成長期の子ども的人格形成に、少なからず貢献している。
- 課題：自然体験活動をした後の成果を日常生活(家庭)に戻った時に、いかに継続させることができるか？



# ご清聴ありがとうございました

---

小笠原「体験クルーズ」& 沖縄「海洋体験セミナー」

目的:「規則正しい生活により、礼節を学び、思いやりや協調の精神を養い、様々な体験を通じて子どもの人格形成と心身の育成に寄与する」

今後の持続的発展をご期待申し上げます